



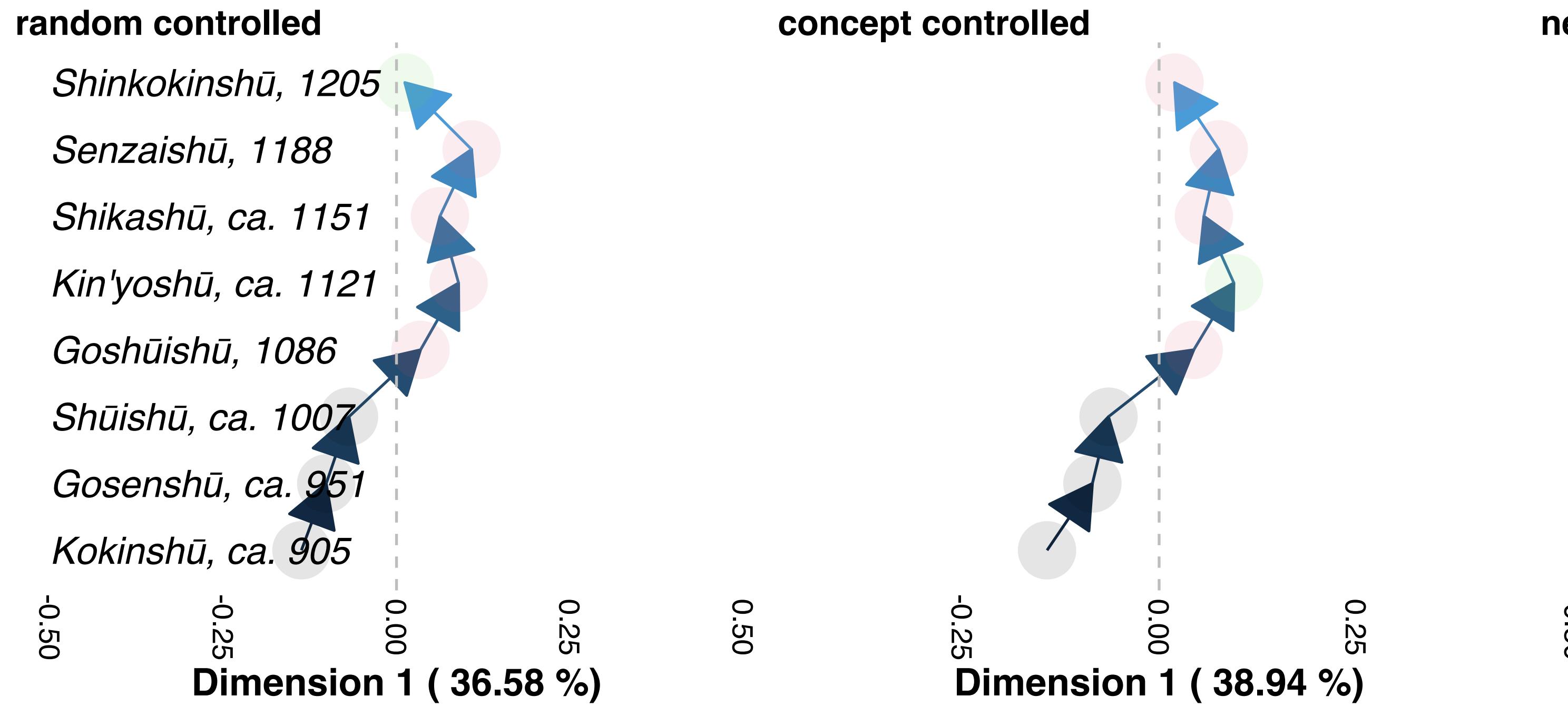
語彙プロファイルに見られる八代集における変化

じんもんこん 2025, 2025 年 12 月 12 日

陳旭東 † ホドシチェックボル ‡ 山元啓史 †



結果 1.



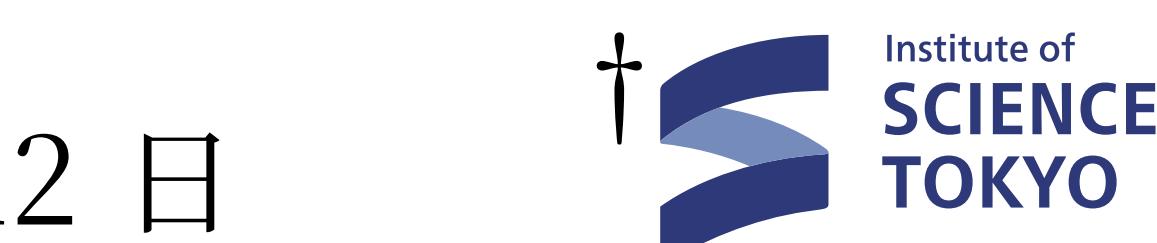
- 異なる水準のパターンに大きな相違が見られず
- 後拾遺で正負転換 (0 値横断)
- クラスタリング：
 - 「古今・後撰・拾遺」同クラスター
 - 「後拾遺・詞花・千載」同クラスター
 - 「新古今」「金葉」は中間水準で不一致
- 金葉以降の往還：
 - △ 金葉 (同時代重視)
 - ▼ 詞花 (後拾遺集歌人重視)
 - ▽ 千載 (同時代重視)
 - ▼ 新古今 (本歌取り隆盛)

結果 2.

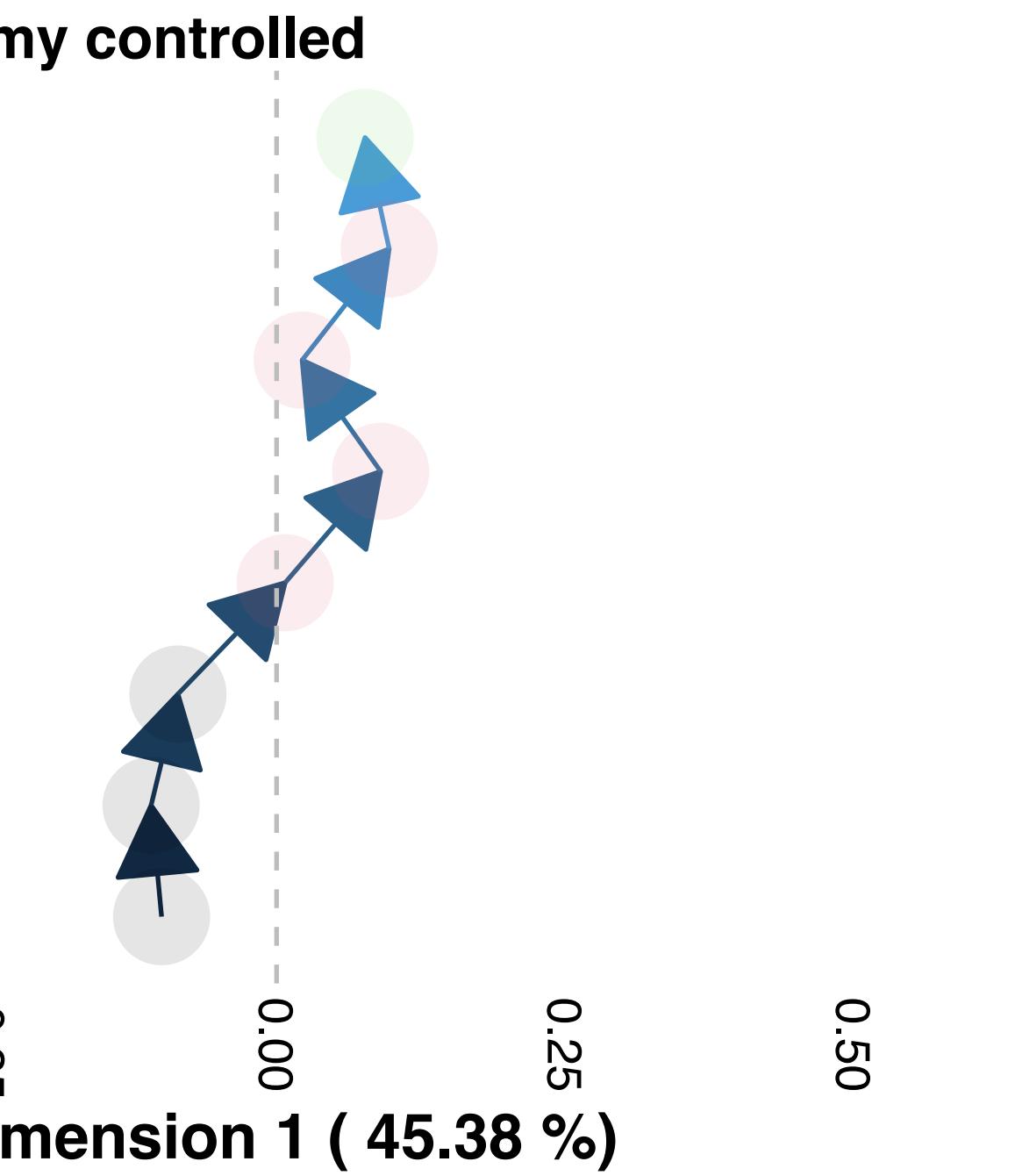


三水準共通点：

- 「金葉→詞花」「拾遺→後拾遺」の変化が「古今→後撰」の変化より大きい

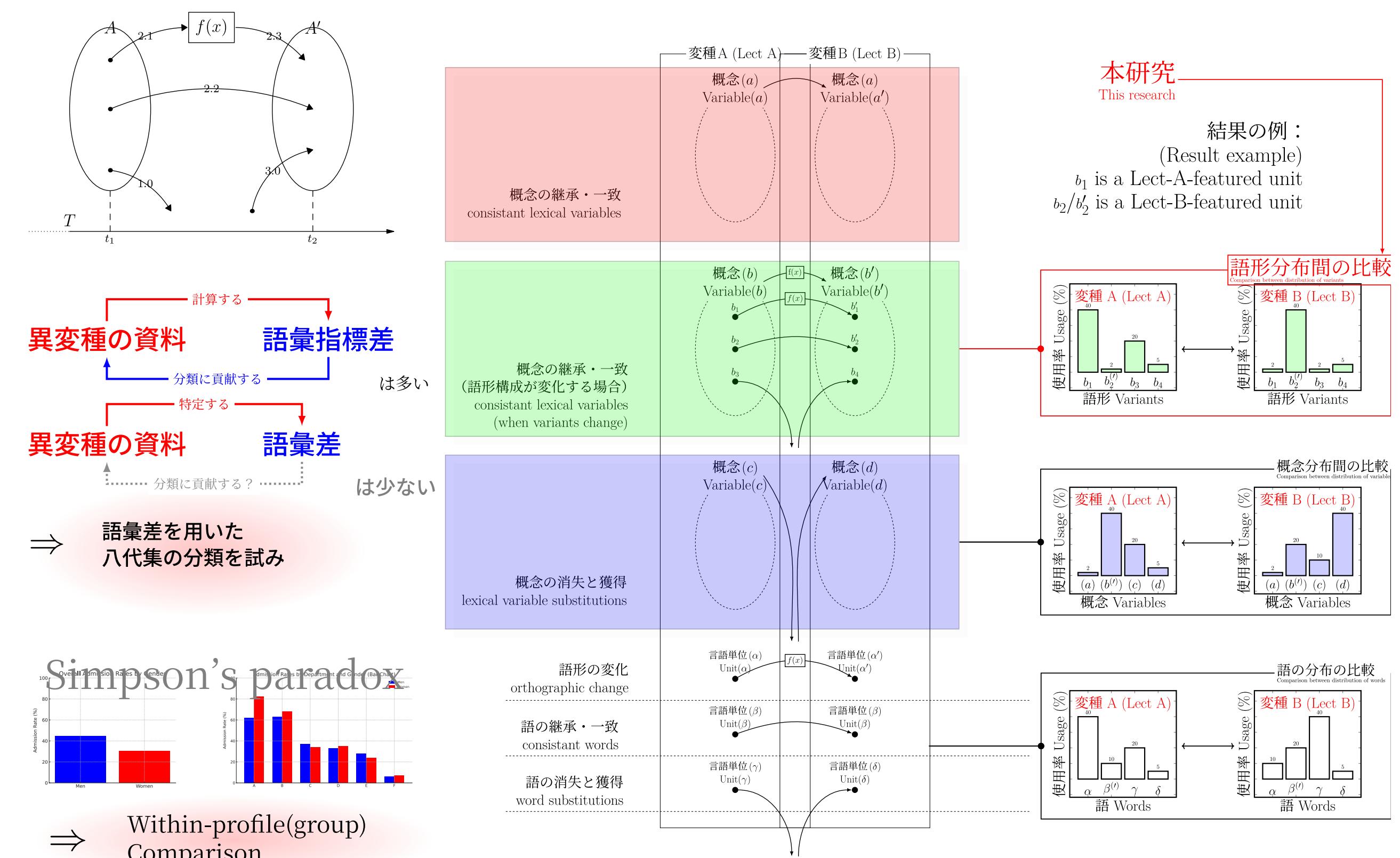


結果 1.



- 異なる水準のパターンに大きな相違が見られず
- 後拾遺で正負転換 (0 値横断)
- クラスタリング：
 - 「古今・後撰・拾遺」同クラスター
 - 「後拾遺・詞花・千載」同クラスター
 - 「新古今」「金葉」は中間水準で不一致
- 金葉以降の往還：
 - △ 金葉 (同時代重視)
 - ▼ 詞花 (後拾遺集歌人重視)
 - ▽ 千載 (同時代重視)
 - ▼ 新古今 (本歌取り隆盛)

背景



手法

比較対 「ムグラ」語群

葎 八重葎

歌集 A	100%	0%	100%
歌集 B	62.5%	37.5%	100%

$$\text{Profile-based dissimilarity}(A, B | \text{ムグラ}) = |1.00 - 0.625| + |0.00 - 0.375| = 0.75$$

Comparison by likelihood ratio test; return p value

古今	後撰	…	新古今	桜花
28	18	…	12	梅
23	16	…	25	槿
:	:	…	:	:
0	0	…	1	槿

(a) Absolute frequency matrix*

* Each column indicates a categorical vector of an anthology

Dissimilarity Calculation with city-block distance; return D_{CB}

古今	後撰	…	新古今	桜花
.14	.07	…	.03	梅
.11	.07	…	.07	槿
:	:	…	:	:
.00	0	…	.00	槿

(b) Relative frequency matrix*

* Each column indicates a categorical vector of an anthology

